

選定テーマ：教育の質保証と目指した学修成果の可視化①

① 時代的・社会的要請

- ・ 学生が何とできるようになったのか → 学修成果を可視化 → 学習意欲の向上
- ・ 質保証の為に、情報を公表する

② 現状

- ・ Webで成績を公表
→ 紙媒体の大学もある
- ・ 授業アンケートの実施
- ・ GPA制度の導入
- ・ 科目ナビソング
- ・ 成績不振者に対するメッセージ

③ 問題点

- ・ 学生への周知不足
・ 存在を知らない
・ 知っていても見ても見えない
- ・ ~~部署ごとに見れる範囲が違う~~
- ・ ~~具体的な数値の公表ができていない~~
- ・ 正課外の活動と評価できていない

④ 要因

- ・ 学生が利用方法がわからない
- ・ アクセスするのが手間
- ・ サイトを見なくても情報が入ってくる
→ 見る習慣がつかない
- ・ 教職員の意識

学修意欲向上の為の視覚的アプローチ C-15②

可視化①

向上

わからない

入ってくる

＜ポイント＞
学修意欲向上の
為のきっかけづくり

＜問題点と要因＞
情報発信の方法と内容

＜対応状況＞
・ Webで成績を確認できる
・ 教職員からの指導
・ 授業評価結果の公表

＜方向性・目的＞
情報の有効活用

○方法
・ アプリからの通知
・ インフォメーションディスプレイ(食堂などに設置)で流す
↓
アンケートで効果の分析

○内容
・ 成長が目に見える表示(過去との比較など)
・ 学修した事かどのような分野で役に立っているのか
→ 選択肢の提示
・ ロールモデル → 目標からの逆算
・ グラフなどを用いて視覚的にわかりやすく